



(601号付録)

京都版 第458号

2024年7月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832 京都市中京区

壬生下溝町51-41

TEL: 075-312-8787

FAX: 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

https://kokubai-kyoto.com

治安維持法犠牲者国家

賠償要求同盟京都府本部

第39回総会のご案内

◆日時: 8月31日(土) 午後1時30分

I部: 「総会議案」討議

II部: 講演

講師: 田中隆夫氏

国賠同盟兵庫県本部副会長

テーマ: 「京都治安維持法犠牲者・倉岡愛穂など」

◆会場: 長浜バイオ大学京都キャンパス

(京都府立医大病院向い)

第39回本部総会

活動報告と運動方針(案)

はじめに

5月15日に行われた51回国会請願行動に全国から150名が、参加し11万筆を超える署名を提出しました。

今年も「生活凶画事件」の犠牲者・菱谷良一さんは、102歳で元気に参加されました。

戦前、治安維持法による弾圧が原因で命を落とした人は、判明しているだけでも1682人にのぼりました。治安維持法による送検者は、1928年〜45年に7万5千人をこえ、逮捕者は数十万人、予防拘束や警察への勾留は、数百万人に及びました。この数は、専制政治の野蛮さとともに、平和と民主主義を求めた日本国民の抵抗とたたかいの規模、勇敢さを示す

ものです。

戦後、勝ち取られた主権在民をはじめとする日本の民主主義は、世界の資本主義諸国の中でも、最も野蛮な抑圧のもとにあった戦前の日本で、日本共産党と多くの民主主義者の戦いが社会進歩の流れに沿っていったからこそ実現したものです。

治安維持法制定から100年を1年後となる今総会は、国賠同盟の故増本前会長が訴え続けてこられた2020年代に治安維持法問題の解決に向けた運動と2万人同盟建設を目指す年であり、京都府本部が現在進めている治安維持法犠牲者顕彰と記録となる犠牲者名簿の編さんと出版を成功させる年となります。

国会では、この10年間に「秘密保護法」「共謀罪」「盗聴法」が施行され国民監視がたよ

められています。

「重要経済安保情報保護法案」(経済秘密保護法案)は、漏えいに罰則を科す国家機密の範囲を経済安全保障に関わる情報にも広げ、軍事や外交などの分野で情報の秘匿を目的にした「特定秘密保護法」の経済

自衛隊の指揮統制の連携強化に踏み込み、米国の先制攻撃の戦争に米軍の指揮統制のもとで自衛隊が参戦する道を開く日米軍事同盟の歴史的大変質が行われています。

平時から自衛隊が米軍の指揮下に置かれ、有事になれば有無を言わず動員される危険なもので急加速する「戦争国家づくり」阻止の国民的運動が求められます。

しようとしています。国民の命と暮らしに関わって、2023年11月の実質賃金は前年同月比3%減と、20ヶ月連続のマイナス。実質賃金が1996年をピークに低下し、暮らしに困難をもたらしたことが、「失われた30年」と言われる経済の停滞を生んでいます。そこを襲ったのが急激な物価高です。日銀が3ヶ月ごとに実施している「生活意識に関するアンケート調査」で「1年前と比べて暮らし向きにゆとりがなくなってきた」と

安版です。秘密の範囲が大幅に膨らみ、機密情報を扱うために求められる「適性評価」(セキユリテイクリアランス)の対象になる民間人が飛躍的に増えます。国民の知る権利や表現・言論の自由を侵害する「物

殺傷兵器の輸出解禁を歓迎し、日米の軍需産業を統合する協議体をつくる。ミサイルの共同開発・生産を実施する「死の商人国家」の道を歩むこととなります。

さらに、国が指揮権をもつ自治法の改悪、農業基本法の改悪で食糧自給率は放棄しながら有事の際に食料が輸入できなくなったら農家に芋の作付け強要と国民には「芋を食え」と

で「1年前と比べて暮らし向きにゆとりがなくなってきた」との回答は、直近の2023年9月調査で57、4%と、リーマン・ショック後に迫る高さです。格差を正し、誰もが希望をもって暮らせるよう政治の役割が

悪法です。

長距離ミサイルなど敵基地攻撃能力の保有、5年間で総額43兆円という大軍拡など「安保3文書」にもとづく「戦争する国家」作りを許してはなりません。米軍が進める対中国軍事戦略に、中距離ミサイルなど敵

目論むという事態です。自民党が政治資金規正法改定の修正案を前代未聞の再提出する異常な事態になっています。自民党裏金問題解決の本質は、「真相解明なくして政治

今こそ、同盟の果たす役割は多く、市民との共同で政治革新

残念ながら自民党、公明党、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党などの賛成多数で可決されました。

基地攻撃能力を持ち、南西地域での態勢強化を図り自衛隊を

改革なし」「企業・団体献金禁止なくして政治改革なし」です。自民党は、それらをあいまいにし、公明、維新を利用して突破

決されました。

岸田首相はバイデン米大統領との「共同声明」で、米軍と

組み込むことです。

し、公明、維新を利用して突破

決されました。

と治安維持法犠牲者への救済
実現が求められています。

立憲民主党の議員からは承諾
を頂けませんでした。

を目指します。
②宣伝部活動

府本部は「文化企画」として、
映画「わが青春つきるとも」を
アンコール上映、展示コーナー
での資料展示で参加しました。

1. 国会請願活動

①国会請願は、国民の知る権利
である請願権の行使であり、国
賠同盟の活動を国民に広げる
最も基本的な活動です。

今年度の府本部の請願署名
数は、団体32団体、個人署名
が2010筆で合計2042
筆で昨年を下回りました。

署名数が減少したのは取り
組が遅れたなか、昨年12月か
らの京都市長選挙がたたかわ
れたことが一つの要因です。こ
れからは早い取り組みが必要
です。

この1年間、宣伝署名活動は、
定例清水寺宣伝、憲法集会、メ
ーデーなど20回実施しまし
た。各宣伝活動には、延べ11
4人が参加し120筆を集め
ました。

今年度から、宇治洛南支部が、

宇治洛南地域リーダーでの宣
伝署名活動を実施したのは重
要です。

「わが青春つきるとも」
上映運動は、宇治山宣会はじめ
各上映実行委員会などの上映含
め、京丹後市、舞鶴市、福知山
市、亀岡市、京都市（2会場7
回）、宇治市、城陽市、京田辺市、
宇治田原町で上映し鑑賞者は、
約2400人で人口1000
人当たり1人に当たります。

の3名が参加しました。

今年度は、従来からの目標を
見直し、団体署名100団体、
個人署名4000筆とします。

要です。

参議院は、共産党の井上哲士
議員、倉林明子議員、立憲民主
党の福山哲郎議員、衆議院は、
共産党の穀田恵二議員、立憲民
主党の泉健太議員、山井和則議
員、滋賀県の嘉田由紀子参議院
議員への要請訪問をしました。

戦争する国づくりが進めら
れる情勢のなか請願署名の意
義を繰り返し学びつつ、請願署
名で大きな力を発揮している
京丹後支部の経験に学び日常
活動の中心にした活動、「早い
時期」の取り組みと「集中的」
取り組みを結合させ目標達成

今後、宣伝ビラの作成などで
訴える工夫するとともに各種
集会での宣伝署名活動に積極
的に取組んでいきます。

2. 再び戦争と暗黒政治を 許さない活動

議会議員へ要請訪問をしました。

議会議員へ要請訪問をしました。

許さない活動

①第43回平和のための京都
の戦争展は、8月1日〜6日ま
で長浜バイオ大学京都キャン
パスで開催されました。

3. 治安維持法犠牲者顕彰運
動・犠牲者名簿作成

井上、穀田の2人の議員と懇談
しました。共産党の3議員から
は快く承諾して頂きましたが、

京丹後支部の経験に学び日常
活動の中心にした活動、「早い
時期」の取り組みと「集中的」
取り組みを結合させ目標達成

の戦争展は、8月1日〜6日ま
で長浜バイオ大学京都キャン
パスで開催されました。

で長浜バイオ大学京都キャン
パスで開催されました。

①3月5日は、第95回山宣墓
前祭が開催され、府本部を代表
して原田完会長が追悼の言葉

は快く承諾して頂きましたが、

京丹後支部の経験に学び日常
活動の中心にした活動、「早い
時期」の取り組みと「集中的」
取り組みを結合させ目標達成

で長浜バイオ大学京都キャン
パスで開催されました。

を述べました。4月16日の倉岡愛穂墓前祭においても原田会長が追悼の言葉を述べました。

国領五一郎墓前祭は、残念ながら開催されませんでした。

② 犠牲者名簿作成

2022年から始めた「京都治安維持法研究会」が23回を数えました。

犠牲者名簿の全体の構成について

① 「京都関連治安維持法事件・犠牲者」の冊子

② 「京都関連の犠牲者名簿索引」冊子の2冊を作成・出版予定。

全体の構成・出版社も決まり執筆依頼、執筆作業に入り2025年、治安維持法制定100年の節目の年に出版を目指しています。

4. 支部建設

① 支部建設では、会員の高齢化

が進むなか活動全般に困難な状況が続き早い時期の改善が急務です。

京丹後支部は、倉岡愛穂墓前祭の取組みや請願署名活動で大きな役割を果たしています。

宇治洛南支部は、新しい役員体制のもと役員会の定例開催が定着し前進が見られます。

② 前総会以降新たな入会者は、19人で、死亡などによる退会者が33人で、14人の後退で現勢503人です。

会員の後退傾向を直視し支部建設を中心に、中央本部が呼びかけている2万人同盟建設に向け積極的な会員拡大の取組みが求められています。

5. 財政・学習活動

① 2023年度の決算は、収入の部で会員の高齢化や健康上の理由、死亡退会などにより会

員現勢が後退する中で、会費収入および寄付金収入の予算を下回りました。支出の部では、

顕彰活動を支える予算を組み、

継続した治安維持法研究会の開催、犠牲者名簿作成に向けた

資料集めや実務作業のための入力アルバイトの雇用など、2025年度に冊子を発行する

めどを着実に前進させる結果となりました。2024年度もこれを保証する予算化が必要となります。また、治安維持法の解説のためにデジタル作成

に取り組み、DVD第一版を視聴された方の意見を踏まえ、再編集し次年度、完成版を目指しています。

2021年から独立採算として取り組んだ映画「わが青春つぎるとも」上映運動は、府本部企画の8月「戦争展」上映で一区切りつけました。

収入約80万円、支出76万円
円で収支黒字の結果となり、独自に取り組んだ京丹後支部で

は黒字を生んで支部財政に寄

与し、洛南地域で実行委員会での取り組み、中京区や福知山

市・舞鶴市などでの上映運動にも援助して成功させた経験は確信を持つ活動となりました。

② 教育・学習活動では、治安維持法研究会を継続に努めます。

③ 「治安維持法と現代」など、引き続き書籍販売、固定読者拡大を目指します。

6. 府本部のさらなる前進を!

映画「わが青春つぎるとも」の上映運動の成功に確信を持ち、若い世代の会員拡大に積極的に取り組み支部活動を中心に据えた活動を重視しさらなる府本部活動を前進させましよう。